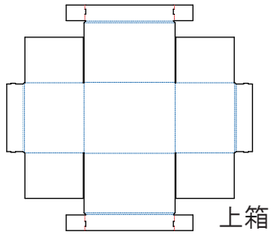
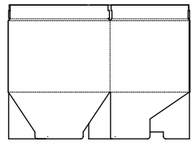
組み立て＆設置はとっても簡単！

耐震収納ボックス 組み立て方法

セット内容



上箱×1

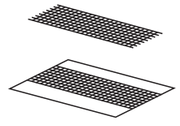


下箱×1

角筒×4
（接着テープ付）

紙筒・大×4

紙筒・小×4
（白テープ付）



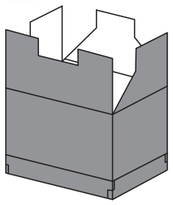
すべり止めマット×1
（接着テープ付き）

すべり止めマット付き板×1

■ 赤シール×1

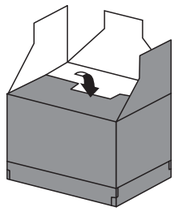
ヒートン×4

❶ 下箱の組み立て



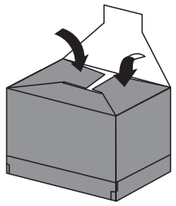
① 箱をひっくり返します
（底面から組み立てます）

②へ



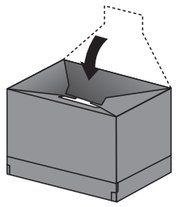
② 長辺の切り込みのある側を折り曲げます

③へ



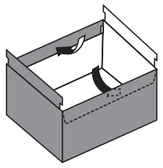
③ 短辺(両側)を折り曲げます

④へ



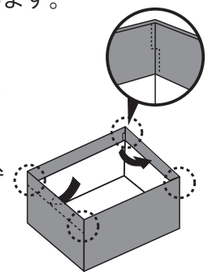
④ 一度凹むまで押し込んで残りの長辺を組みます。

⑤へ



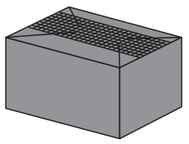
⑤ 長辺の縁を内側に折り込みます。

⑥へ



⑥ 短辺の縁を内側に折り込み、切り欠き部分を組み合わせます。

⑦へ



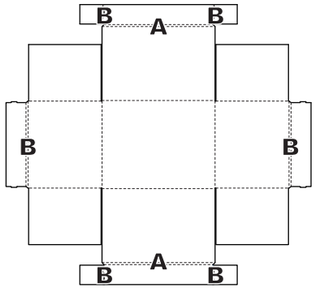
⑦ すべり止めマットの剥離紙を剥がし、底面中央に載せるように貼ります。

⑧へ

⑧ 底面の内側を手で押し、すべり止めマットをしっかりと貼り付けて完成です。

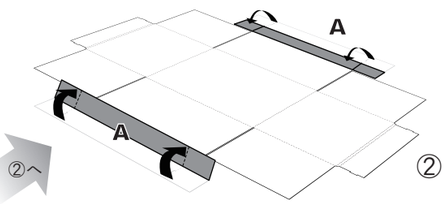
完成

❷ 上箱の組み立て



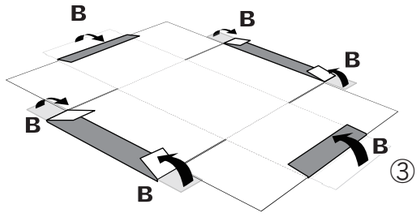
① 下箱を平らに開きます。

②へ



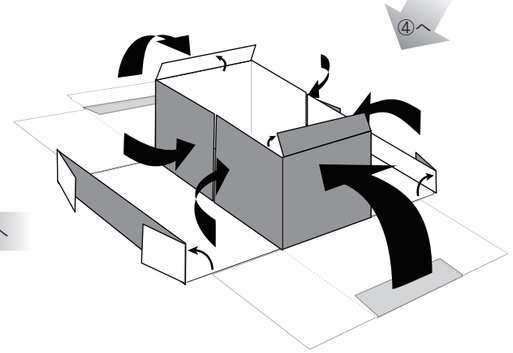
② **A**に折りぐせをつけます。

③へ



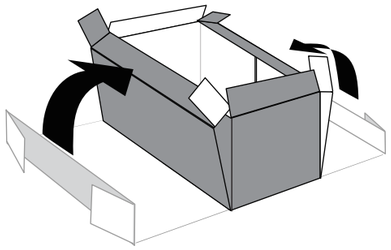
③ **B**に折りぐせをつけます。

④へ



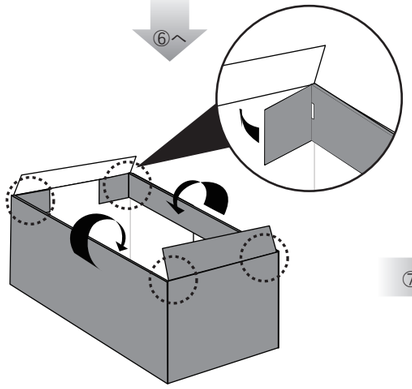
④ 短辺を箱状に折って、**A,B**の折ぐせを少し開きます。

⑤へ



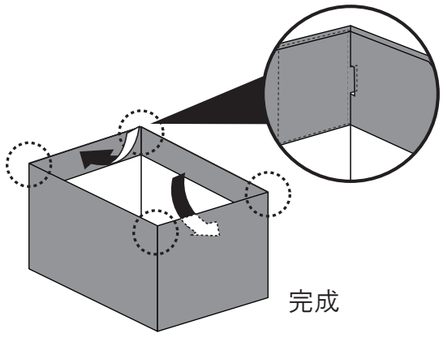
⑤ 長辺を箱状に折ります。

⑥へ



⑥ **B**の折ぐせどおり、茶色面が内周に回り込むように長辺の縁を折り込みます。

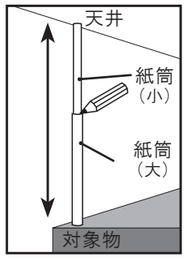
⑦へ



⑦ 短辺を折り込み、切り欠き部分を確実に組み合わて完成です。

完成

❸ 箱の高さ調節

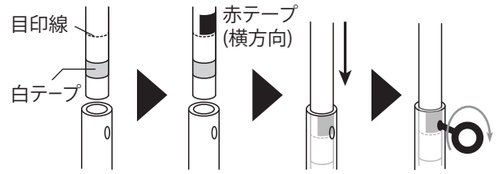


① 紙筒の長さ合わせ

紙筒(大小)を組み合わせ、対象物と天井に突き当てて長さを合わせて境目に目印をつけます。

※このとき、高さ限界を表す紙筒(小)の白いテープが紙筒(大)の中に隠れた状態であることを確認してください。

② 紙筒の長さ固定(赤テープの幅分、短くします)

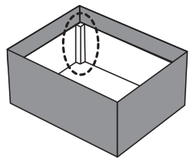


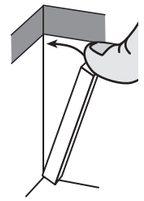
紙筒(小)を抜いて、目印線の上側に赤テープを横方向に貼ります。

紙筒(小)を紙筒(大)に入れて、赤テープがちょうど隠れる位置に、ヒートンで固定します。

※ ヒートンは筒の中心を通るように、まっすぐねじ込んでください。

残り3本を同じ長さに合わせて同様に固定します。





③ 角筒の接着

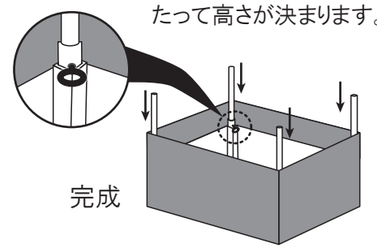
角筒の剥離紙(各2枚)をはがし、角にぴったり合うように上端を押さえた状態で斜めにならないようにすべり止めマットを貼り付けた下箱の四隅に接着します。

※ 上箱と下箱を間違えないようご注意ください。

④ 紙筒の挿入

四隅の角筒の中に紙筒を(大)側からヒートンが内側を向くように入れます。

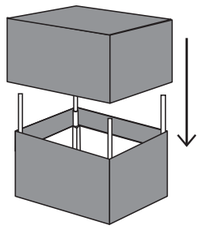
※ ヒートンが角筒に突き当たって高さが決まります。



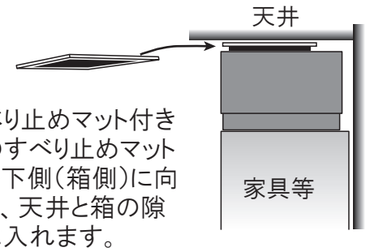
完成

❹ 箱の設置

① 設置場所(家具等の天板)上のほこりを掃き取ってください。



② 下箱に衣類や非常用品など収納したい物(5kgまで)を入れ、上箱を被せて家具の上に箱を載せます。



③ すべり止めマット付き板のすべり止めマット面を下側(箱側)に向けて、天井と箱の隙間に入れます。

※ 突っ張り固定式ではありませんので、天井との間に多少隙間があっても耐震性能には影響ありません。

■ 取り外し方法

① 箱上のすべり止め付きマットを引き抜きます。

② 箱下面のすべり止めマットの引っ掛かりがなくなるように、耐震収納ボックスを少し浮かせるようにして箱を引き出します。

⚠ 注意事項

- 本製品は5年を目処に交換してください。
- 本製品に乗ったり、物を載せたりしないでください。
- 温度や湿度によって変形、変色、色移りする場合があります。高温多湿の場所では使わないでください。
- 幼児、子供の手の届かないところで保管してください。
- 本製品は食べられません。
- 保管する場合は、直射日光の当たらない冷暗所で保管してください。
- 本製品は災害や事故等の損害を補償するものではありません。
- 本製品は予告無く仕様変更する場合があります。

袋PE

紙・紙筒